

赤ちゃんのお口の発達



初めての離乳食は、力がはいりますね。おだしをとり、軟らかく煮て、つぶして…でも、いざ食べてもらおうとすると口からはきだす…。なんで!?!と思いますが、これは、赤ちゃんのお口の成長が原因かもしれません。

月齢

お口の成長と発達

離乳準備期

(4～5ヶ月)

なんでも口に入れてみたい。
この時期の指しゃぶりは大切です。
舌は**前後運動**をします。

離乳食初期

(5～6ヶ月)

**早い人は乳歯
が生え始める**

口をあけて自分で飲み込めるようになります。
離乳食もどろどろ状のものなら食べれますが、
まだ舌の、**前後運動**の動きがみられるので
食べ物を口に持っていても舌で出してしまうます。

離乳食中期

(7～8ヶ月)

**乳歯(前歯)が
生え始める**



前歯が生えて、**舌の上下の動き**(押しつぶし)
が出来るようになります。
食べ物の感触を覚え、離乳食は、舌でつぶせる
ぐらいの固さの食べ物にしましょう。

離乳食後期

(9～11ヶ月)

**上下の前歯が
そろい始める**

上下の前歯が生えそろいかじれるようになります。
左右の舌の動きが出来るようになるため、舌を使い
押しつぶすことが出来ます。離乳食は、歯ぐきで、
つぶせる固さです。

離乳食完了期

(1～1歳3ヶ月)

奥歯が生え始める

奥歯が生えてきて歯で、しっかり噛んで
食べられるようになります。
この時期は、口へ詰め込みすぎたり食べ
こぼしをしながら覚えていきます。

せっかく頑張って作った離乳食を食べない時は、
落ち込みますね。でも、それは赤ちゃんが食べたく
ないのではなく、お口の成長と発達が関係していた
のかもしれません。

食事のことで心配な場合は、医師や管理栄養士等
へご相談ください。



徳島県口腔保健支援センター
(徳島県健康づくり課内)
TEL 088-621-2736